



要望による機能改善の実現など、 ユーザーとともに作り上げ、成長する原価管理ソフト

大正8（1919）年に創業し、富山県初の電気工事請負専門業者としての歴史をもつ笹嶋工業株式会社。北陸電力管内を中心に卓越した専門性と技術力で、全国各地の送変電工事を手がけるほか大規模施設から個人宅までの配電工事を担う、電気通信工事のスペシャリストとして北陸および信越での存在感を発揮している。

電気通信以外でも道路・河川・砂防等の土木建築工事とハウス事業も展開。総合建設業として成長を遂げてきた同社の、建設原価管理に対する現状を伺ってみた。



株式会社アイキューブ 代表取締役 山本 武史
笹嶋工業株式会社 管理部部长 寺田 和浩氏

－導入前の問題点－

- オフコンをベースにしたシステムが対応できなくなった
- 複雑化するデータ管理と閲覧の即時性に対応不能
- 会計システムへの連携が図れていなかった



－導入後の変化－

- 会計との連動と経過データの有効活用が可能に
- 複数クライアントの活用で共有化と業務効率アップ
- 労務と入金支払の連携で請求処理がスピーディーに
- 要望改善等で長く使えば使うほど成熟するソフト

笹嶋工業様 導入システム

- 原価本家 5ライセンス
- 出面本家 5ライセンス
- 入金本家 5ライセンス
- 歩掛本家 5ライセンス
- 請求書発行キット
- 建設奉行、給与奉行

データ増、複雑化する管理業務にシステム変更

笹嶋工業が「アイキューブ本家シリーズ」を導入したのは十数年前のこと。すでに2世代にわたるバージョンアップを経ながら“本家”を運用し続けている長期ユーザーの一社である。“本家”への切替以前はオフコンをベースにした自社独自の原価管理ソフトを作成し、活用。しかし、取扱データ量の急増から汎用性の高いパッケージソフト導入に踏み切った。

寺田氏：「アイキューブ本家シリーズ」導入時は、ちょうど当社が急成長していた時期。送変電工事では、それまで鉄塔の組み立てなど土木工事が主体であったものが、架線まで含めた高度な電気工事まで受注できるようになり、工事件数とともに請負明細も複雑化。加えて、一般土木も国交省などの大型案件を受注するようになり、売上増とともに管理項目も細分化していく中で、旧来のオフコンを基盤としたシステムでは対応できなくなっていました。

限られた担当者によるオフコン管理では、各部門間で複雑化するデータ処理業務に対応できないので、操作性にすぐれ部門ごとに入力管理業務を分担しながら、全社でデータ共有できるパソコン環境でのパッケージ導入を実施しました。



大規模な送変電工事に対応する専用機器が多数取り揃えられ、同社の強みとなっている。

会計システムと連携し、経過データの集計も迅速

「アイキューブ本家シリーズ」導入の決め手のひとつは、OBC「建設奉行」との連携の良さ。両パッケージをセットで導入することで、原価管理から会計管理までのスムーズなフローが確立されたことが、急成長期にあった同社の大きな運用効果だった。

寺田氏：現在は5つのクライアントで運用し、主に出面管理と入金支払管理で請求書の発行に活用しています。「アイキューブ本家シリーズ」で原価管理するメリットは、建設奉行と併用することで日々、入力されていくデータを素早く閲覧でき、即時性をもった把握と分析ができることです。

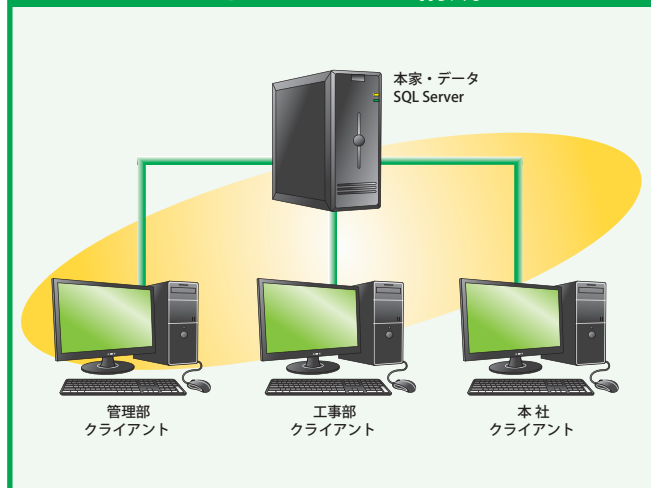
送電線工事は、資材が電力会社からの支給なので技術者や作業員の労務管理が出来高のメインとなります。建設奉行に反映される正規の会計データは、日々“本家”に入力さ



れたデータを精査して2~3ヶ月後に完成しますが、1週間単位などの経過データを“本家”で閲覧しながら把握できるメリットは大きいですね。工事現場を管理する者としては出面の積み上げを、即時性をもって求めています。労務状況を素早くチェックできることで、どこにどれだけお金がかかり、そして出来高はどの程度か、ということが把握できます。

配電工事関係では細かな仕事が多く、毎月末にすべての請求書を上げなくてはいけない場合が多くあります。そうした対応にも「アイキューブ本家シリーズ」の出面と請求書発行の連携スピードは、頼もしいものがあります。

ネットワーク構成



管理部のメンバーのほか各工事部で分担して“本家”が活用されている

要望の拾い上げ等アフターフォローも充実

導入当初は、出面管理メインで取得クライアント数も3だった笹嶋工業だが、「アイキューブ本家シリーズ」を使い込むうちにクライアント数も請求書作成などのオプションも追加してきた。さまざまな機能追加や仕様変更などを繰り返し、使いやすいシステムに成長してきた要因に、同社などからの要望の反映もあるのが事実だ。

寺田氏：要望については、“Excelチェンジ”などが大きな機能追加でした。また、当社の実務担当者が強く要望した備考欄の入力文字数拡大や、支払報告書作成で日付設定から該当箇所をチェックすると項目別に閲覧が容易になる操作機能の改善なども、システム全体の機能変更として評価しています。

私自身は、閲覧する箇所が限られていますので、操作性を簡便にする「マイメニュー」設定がありがたい機能です。こうした要望の伝えやすさも、アイキューブの社長はじめスタッフの方が、定期的に訪問して声を拾い上げていただいていることに尽きます。

当社はサーバーを社内に設置して各種システムを連携・運用していますが、その移設やバージョンアップにもきめ細かに対応していただいています。電話やリモートなどでのクイックレスポンスを含めて、売りっぱなしでないサポート力も、未永く運用を続けられる大きな要因だと思います。



取締役総務部長
上保 福夫氏

User Profile

笹嶋工業株式会社
住所 ● 富山県南砺市三ツ屋28
電話 ● 0763-22-2702
<http://www.sasajima.net/>

